

普及活動情勢報告（平成29年10月分）

高吾農業改良普及所

新高梨「目慣らし会」の開催（佐川町）



佐川町の黒岩梨出荷組合が9月20日に公民館で新高梨「目慣らし会」を行い、生産者20戸が参加しました。果実品質の確認や出荷予定の決定、情報交換による産地のレベルアップが目的です。

普及所は果樹試験場の協力で最新器具（非破壊糖度計、非破壊硬度計等）を用いて果実品質を測定し、気象データや過去の測定値と比較して評価を行いました。また、今年の試験経過を紹介しました。

普及所では、今後も果実品質と気象との相関を探り、栽培指導に生かしていきます。

J Aコスモス日高支所でショウガの荷受説明会が開催されました



J Aコスモス日高支所は、ショウガの荷受説明会を開催し、生産者5戸が出席しました。まず、J Aから荷受時の注意点について説明があり、続いて普及所は収穫前に注意すべき病害虫と対策について説明しました。また、J Aコスモスショウガ版G A P点検シートを配布し、収穫から出荷までの工程について自己点検を実施しました。

これから管内のショウガの収穫が本格化し、各支所で荷受説明会が開催されます。今後も普及所はショウガ産地の振興のために病害虫防除の徹底やG A Pの取り組みを推進していきます。

高吾えいのう塾開催（農業経営）



10月12日に当普及所で新規就農者のための高吾えいのう塾を開催しました。今回のテーマは農業経営で、4名が参加しました。

農業経営管理のために複式農業簿記記帳の必要性や活用方法について講義を行い、参加者は「今後記帳に取り組みたい」と経営管理への関心が高まっていました。

管内では越知町・佐川町・日高村が農業簿記記帳講座を開催しており、普及所も参加して支援しています。普及所では、農家自らが経営分析を行えるよう、今後も支援していきます。

J Aコスモスニラ生産部、総会に合わせて現地巡回を実施



J Aコスモスニラ生産部では、10月6日の総会に合わせて現地巡回を実施しました。現地巡回には12戸が参加し、5戸のハウスを巡回して生育状況や栽培管理について情報交換しました。普及所は、作型ごとに播種日や定植本数を確認して栽植密度について情報提供し、総会では「ニラ生産部栽培ごよみ」を配布しました。

管内ではニラの新規栽培者が多く、地域の担い手となっています。普及所では、今後も現地巡回や栽培資料の提供を通じて新規栽培者の技術習得を支援していきます。

JAコスモス出資型法人（株）コスモスアグリサポートの大玉トマト収穫が始まりました。



10月13日に（株）コスモスアグリサポート（以下、CAS）の大玉トマトの収穫が始まりました。普及所ではCAS立ち上げから支援しており、栽培開始以降は各ハウスの生育調査を行っています。CASの毎週のミーティングで生育調査の結果を資料として示すことで、各ハウスの生育状況が職員間で共有され、栽培管理等の改善に繋がっています。

今後も普及所では、生育調査・環境データの蓄積を行うことで収量の安定化に向けた支援を行っていきます。

仁淀川町農漁村女性グループが小学生向けに郷土料理講習会を開催（芋煮会）



10月19日に仁淀川町農漁村女性グループが同町池川のツボイ地区で小学生25名を対象に、いりもちとこんにゃく、田舎寿司の郷土料理講習会を開催しました。小学生たちは「魚じゃないお寿司は初めて」「こんにゃくは機械と思っていた」「いりもちは生地が柔らかく作るのが難しかった」と楽しんでいました。講習会後は田楽や芋煮がふるまわれ、元気におかわりをしていました。

普及所は企画段階から活動を支援しました。今後も郷土料理が地域で継承されていくよう支援していきます。